

# 私たちが描く未来

## — 2035年、こころ豊かな社会から届いた「ありがとう」の手紙 —

日頃お客様から頂く感謝の手紙は、社員のエンゲージメントを高め、2035ビジョンへの原動力となっています。本企画はその「手紙」をモチーフに、「2035年の未来でこんな手紙を受け取りたい」という思いから着想しました。キリンの取り組みが日常に溶け込み、誰もが自然に健康と幸せを享受できる世界を描きます。

### キリンの皆さまへ

先日、アメリカに住む友人から一通の手紙が届きました。難病の治療で長く苦しんでいた彼が、キリンの治療薬で回復したのでこの夏にオーストラリアに遊びに来たいという内容でした。手紙の端々から、ようやく日常が戻ってきたよろこびが伝わってきました。

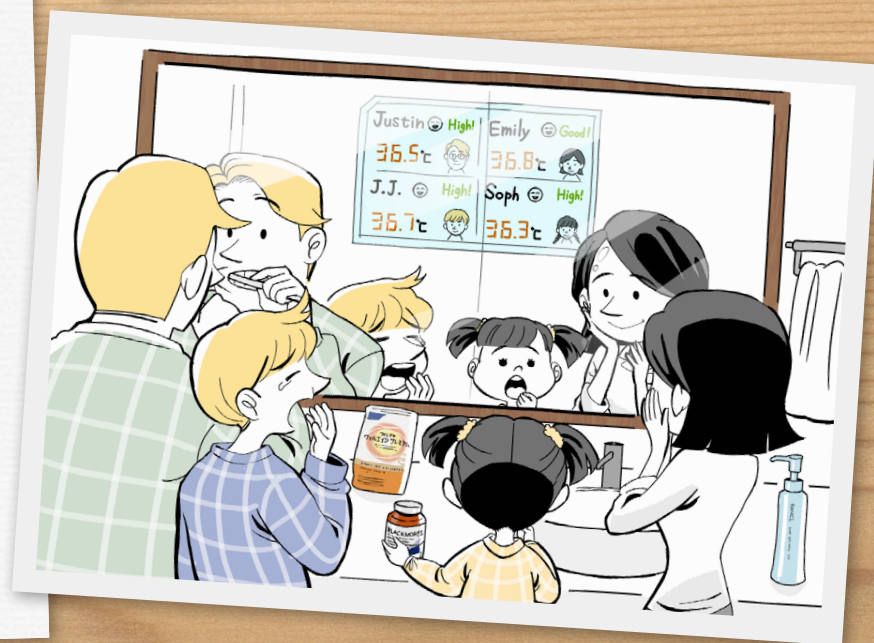
彼の話が気になって調べてみると、薬だけでなく、普段手に入る飲み物、サプリメント、化粧品や頼りにしているサービスまで——私たちの生活のあちこちが、少しずつ“心と身体の健康”に向かう選択をしやすい形に変わっていることに気がきました。その変化のそばに、みなさまの取り組みがあることを知り、私の実感を伝えたく、こうして筆を取りました。

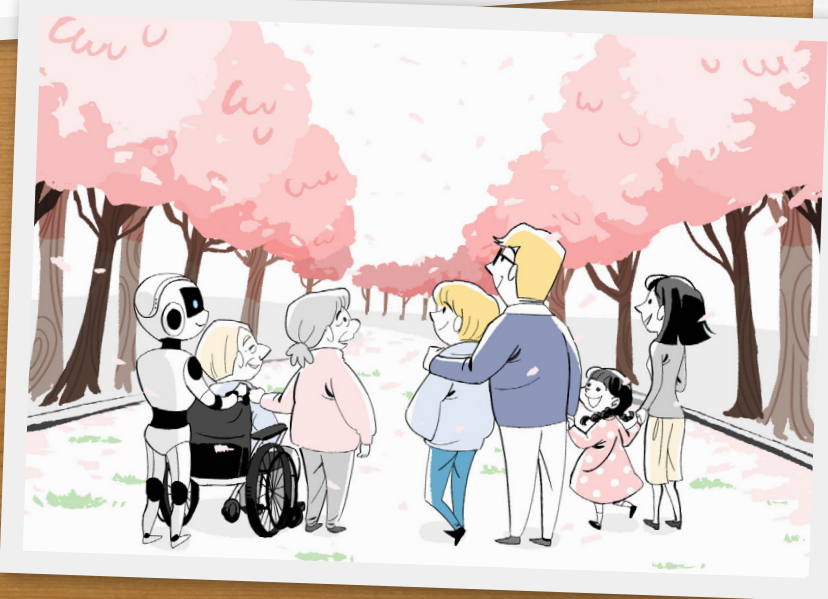
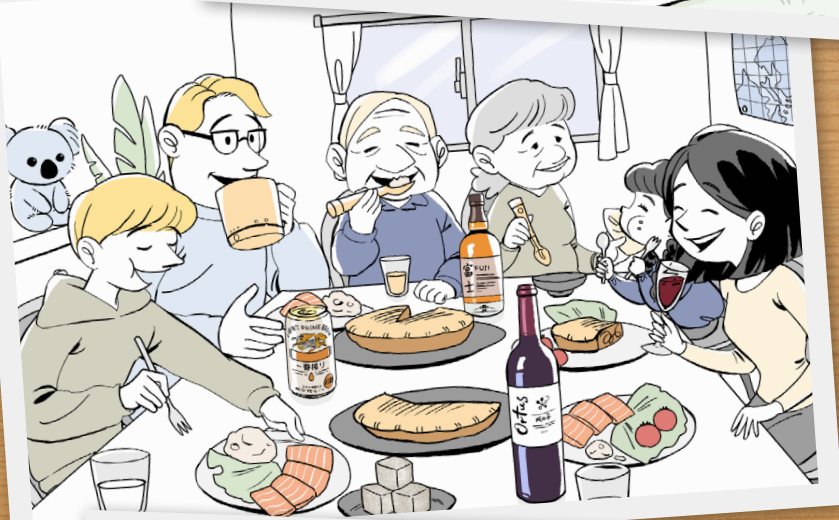
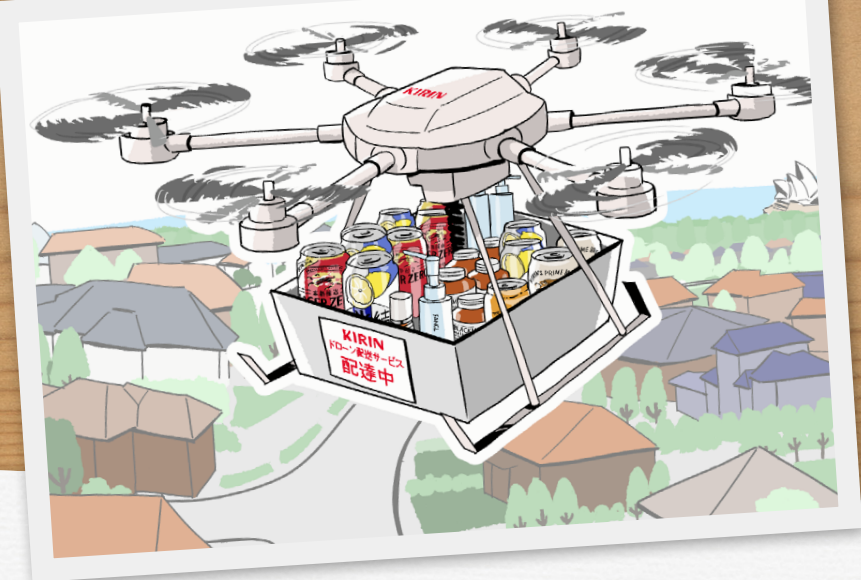
朝は、洗面台の鏡に今日のコンディションが映し出され、家族みんなの体調を見ることから始まります。地元の豊かな土地で育った新鮮な野菜たっぷりの朝ごはんのあと、提案されたサプリメントで整える。必要な時には、医療機関とつながった服薬サポートが必要な薬やサプリメントを届けてくれます。歯磨きと同じくらい当たり前家族で健康管理をしています。

子どもたちが学校へ向かう背中を見ながら、学校からの急な呼び出しに怯えながら仕事をしていた子どもたちが幼いころの事を思い出します。今では、体調を崩してから対応するのではなく、崩さないために免疫を高めて予防することが毎日の習慣になっています。

放課後には子どもたちが元気に走り回って遊んでいる笑い声が聞こえてきます。手にしている飲み物も、健康や環境のことを気にせず迷わず選べるようになりました。

最近、今日の自分に合った一杯が自然に手元に届く世の中になりました。その一杯は心も身体も解放され、一日の疲れを心地よく癒してくれます。





仕事では、AIのおかげでPCに向かってただ資料を作り続ける時間が減り、家に持ち帰る疲れが目に見えて減りました。夕方、ちゃんと余力のある自分で帰宅し、家族と食卓を囲む。そんな一日の締めくくりに、冷えたビールを一杯。また別の日には世界各地の友人たちと、好きな飲み物を手にバーチャル飲み会で乾杯。そんなふうに誰かとつながれるだけで、心と身体がほだけていくのを感じます。

間もなく85歳の父は塩分を控えた食事を「昔と変わらず美味しいね」と言って笑います。味を我慢することも、誰かに気を遣わせることもなく、同じ食卓でみんなが同じように楽しめることが当たり前になりました。

介護も、近年の技術進歩で、家族だけが「頑張る」ものではなくなりました。思いやりのあるテクノロジーがそっと家族に寄り添い、家族は家族でいる時間を心から楽しめるようになりました。

先月、私は父を連れて日本に旅行に行きました。10年前に日本で見た桜が忘れられず、いつか必ず家族に見せてあげたいと思いつけ、ようやくその願いを叶えることができました。日本の桜は10年前と変わらないくらい、いやそれ以上に美しく咲き誇り、私たち家族の心に刻まれました。

病気があっても、年を重ねても、人とつながるよろこびを諦めなくていい。これまで自然に続けられることができたから、健康も美しさも頑張つて追いかける“目標”ではなく、みんなの日常になりました。

今の暮らしは、未来のための我慢の上にあるわけではありません。今日という何でもない一日を心地よく過ごすことが、気づけば自然と明るい未来へとつながっていました。みなさまは2035年の今も、この当たり前をさらに更新しようとしているのかもしれないかもしれません。どうかこれからも、生活者それぞれの心豊かな社会を支える選択肢を、増やし続けてください。これからも応援しています。